

豊島区公園等 再構築プラン

〔地域別編〕

身近な「私たちの公園」



令和8(2026)年3月

豊島区

目次

1 - 1	モデル地域における検討の進め方	1
1 - 2	モデル地域の選定	3
2 - 1	巣鴨・西巣鴨地域における検討結果	6
2 - 2	高田地域における検討結果	15
2 - 3	高松・要町・千川地域における検討結果	23
3 - 1	地域別の進め方の方針	32



1 - 1

モデル地域における検討の進め方



1-1 モデル地域における検討の進め方

① 検討の進め方

地域の特徴を生かしたプランとなるように、豊島区都市づくりビジョンに示されている12の地域ごとに検討を進める。ただし、全ての地域の検討を同時に行うことは難しいことから、地域の核となる大きな公園や、親水施設などの特徴的な機能を有する公園が少ない地域を、モデル地域として選定する。

モデル地域における検討の具体的な進め方は、①地域別の公園施設の実態把握、②区民ニーズの把握(アンケート、ヒアリング、ワークショップ等)、③地域の方向性を示し、各公園の役割と機能分担を整理する。これらの成果を踏まえ、本プランに反映する。

● 図 豊島区都市づくりビジョンにおける12地域



本プランの検討の進め方

豊島区公園等再構築プランの目指す姿
身近な「私たちの公園」

先行して検討を行うモデル地域の選定

<モデル地域における検討の具体的な進め方>

- ① 地域別の公園施設の実態把握
- ② 区民ニーズの把握(アンケート、ヒアリング、ワークショップ等)
- ③ 地域の方向性を示し、各公園の役割と機能分担を整理

豊島区公園等再構築プラン(本編及び地域別編)策定

1 - 2

モデル地域の選定



1-2 モデル地域の選定

① 地域区分とモデル地域の選定

先行して検討を行うモデル地域は、「豊島区都市づくりビジョン」で示した12の地域のうち、以下の4つの基準に沿って「巣鴨・西巣鴨地域」、「高田地域」「高松・要町・千川地域」の3つの地域を選定した。

【選定基準】

- ① 公園、児童遊園数が少ない
- ② 地域の核となる公園(1,000㎡以上の公園)が少ない
- ③ 親水施設、キャッチボール場、インクルーシブ遊具等の施設が少ない
- ④ 地域内の公園総面積が小さい

● 図 選定したモデル地域



● 表 地域ごとの公園集計

令和7年12月時点

地域	公園 総面積 (㎡)	公園・児童遊園 面積別箇所								公園の主な機能、公園活用事業				
		小規模公園		1000㎡以上の公園 (地域の核となる園)			4つの 公園 ※1	特徴のある 公園 ※2	その他 ※3	箇所数 小計	親水施設	キャッチ ボール場	インクルーシブ 遊具 設置	中小規模 連携団体 数※4
		500㎡未満	500㎡以上	1000㎡以上	2500㎡以上	5000㎡以上								
① 駒込地域	13658.01	5	4	2	2	0				13	1	0	3	1
② 巣鴨・西巣鴨地域	7051.71	5	1	4	0	0				10	0	1	0	9
③ 大塚地域	19936.71	5	3	4	3	0				15	0	2	2	3
④ 池袋本町・上池袋地域	29323.74	11	0	3	3	1		1		19	1	2	2	2
⑤ 池袋東地域	47645.98	4	6	3	2	1	3			19	2	0	2	1
⑥ 池袋西地域	30868.27	5	5	2	0	1	1	2	1	17	2	1	0	0
⑦ 雑司が谷地域	13934.58	2	6	0	0	1			1	10	1	1	2	9
⑧ 高田地域	4958.18	2	4	1	0	0				7	0	0	0	1
⑨ 目白地域	11347.74	7	1	0	1	0		2		11	0	1	0	3
⑩ 高松・要町・千川地域	6585.19	9	1	0	1	0				11	0	1	0	2
⑪ 長崎・千早地域	23245.36	10	5	4	1	1				21	4	1	0	3
⑫ 南長崎地域	29701.95	3	3	2	0	3			1	12	1	1	3	4
小計		68	39	25	13	8								
合計	238257.42	107		46			4	5	3	165	12	11	14	38

※1 池袋駅周辺の4つの公園：池袋西公園、中池袋公園、南池袋公園、としまどりの防災公園

※2 特徴のある公園：谷端川北緑道、谷端川南緑道、池袋の森、目白の森、目白庭園

※3 その他（要綱上の広場等）：椎名橋下広場、南長崎中央公園（通路の一部）、雑司が谷三丁目広場

※4 中小規模公園活用事業と連携している団体数

1-2 モデル地域の選定

② モデル地域におけるアンケート・ヒアリングの概要

モデル地域において、公園利用者や地域の関係者など、様々な立場や幅広い世代を対象にアンケート、ヒアリングを実施し、公園の利用方法や課題の確認、地域のニーズ等の意見を伺った。

●表 モデル地域のアンケート・ヒアリング先

対象団体・施設	対象者	年齢層								アンケート等手法
		乳幼児 0～3 歳	幼児 4～6 歳	小学生 7～12 歳	中学生 13～17 歳	若者 18～22 歳	20～30 代	40～50 代	60代 以上	
保育園・幼稚園関係	関係者	○	○			○	○	○		アンケート配布
小学校	小学生			○						アンケート配布
中学校・高等学校	中高生				○	○				アンケート配布
区内大学	大学生					○				まちづくりゼミに ヒアリング
高齢者施設等	高齢者 生活相談員								○	ヒアリング
町会関係	町会関係者						○	○	○	ヒアリング
障害児通所事業所 児童発達支援センター	障害者・関係者					○				ヒアリング
障害者福祉施設	障害者・関係者					○				ヒアリング
スポーツ活動団体	スポーツ団体等					○				ヒアリング
公園活用団体	活用協定・協定花壇 プレーリーダー等					○				ヒアリング
公園利用者	全世代					○				イベント・アンケート HP・SNS・現地掲示



2 - 1

巣鴨・西巣鴨地域における検討結果



2-1 巣鴨・西巣鴨地域における検討結果

① 地域別の公園施設の実態把握

巣鴨・西巣鴨地域は「地域の核となる公園」が4園あるが、いずれも1,000㎡程度である。また、「小規模公園」が6園あり、そのうち5園が500㎡未満である。

公園施設については、親水施設やインクルーシブ遊具等が1園も無い。ボールひろばは1園あり、バスケットゴールが設置されている。

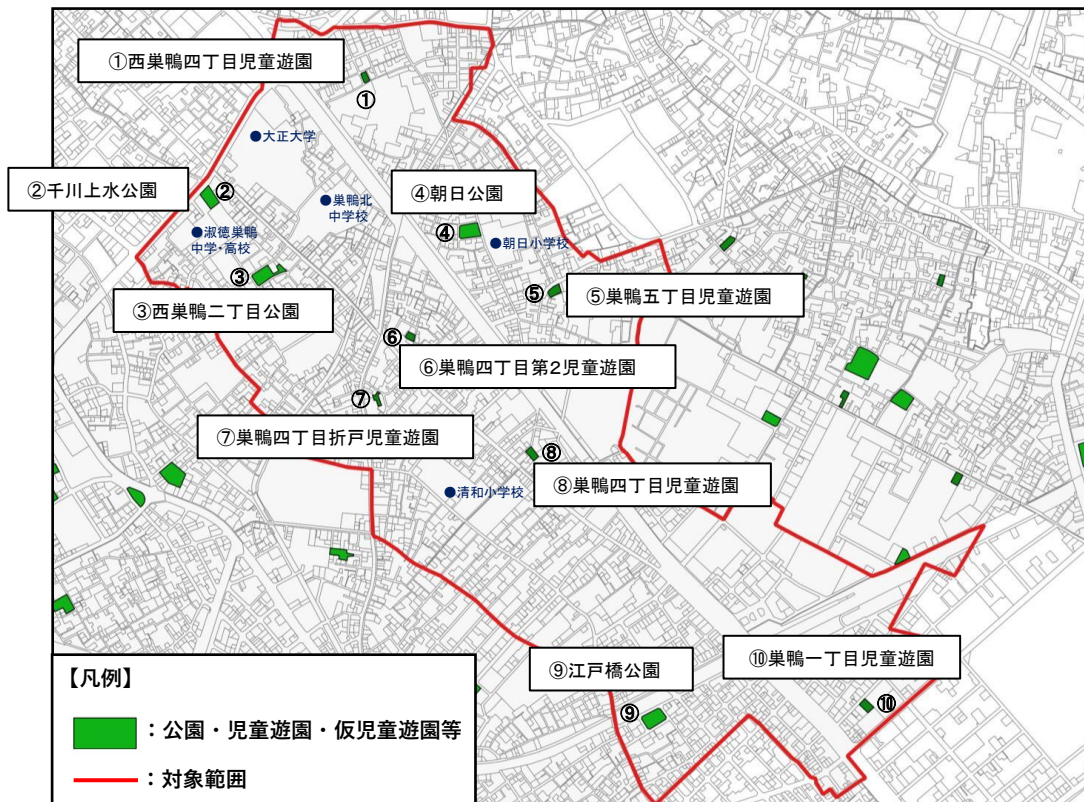
●表 巣鴨・西巣鴨地域の公園リスト

令和7年12月時点

公園名称		単位	① 西巣鴨 四丁目 児童遊園	② 千川上水 公園	③ 西巣鴨 二丁目 公園	④ 朝日公園	⑤ 巣鴨五丁目 児童遊園	⑥ 巣鴨四丁目 第2児童 遊園	⑦ 巣鴨四丁目 折戸児童 遊園	⑧ 巣鴨四丁目 児童遊園	⑨ 江戸橋 公園	⑩ 巣鴨一丁目 児童遊園
面積		㎡	250	1,020	1,357	1,179	557	258	285	369	1,320	450
公園規模			核・小	核・小	核・小	核・小	核・小	核・小	核・小	核・小	核・小	核・小
のびのび 遊べる	幼児向け遊具	個	1		2	1	2	3			3	1
	児童向け遊具	個		2	1	2	1		1		5	2
	親水施設	箇所										
	インクルーシブ	個										
健康・スポーツ を楽しむ	かけっこ広場	有無		○			○				○	
	健康遊具	個										
みどり・自然 に親しむ	ボールひろば	有無				○(バスケ)						
	豊かな緑	有無			○					○		○
くつろぎ・ 憩える	ピオトープ・池	有無										
	協定花壇	有無			○			○	○			
	自然体験	有無	○		○							
安全・安心 を担う	日よけ	有無										
	憩い(ベンチ等)	人	6	4	15	5	7	4	5	20	8	2
交流・にぎわい を育てる	防災機能	有無	○	○	○							
	防災訓練	有無						○	○		○	
交流・にぎわい を育てる	公園活用	有無	○		○		○	○	○	○	○	
	ボランティア清掃	有無					○		○			

【凡例】核：地域の核となる公園、小：小規模公園

●図 巣鴨・西巣鴨地域の公園配置



2-1 巣鴨・西巣鴨地域における検討結果

② 区民ニーズの把握（意見募集およびヒアリング結果）

巣鴨・西巣鴨地域で一番多かった意見は、「休憩場所・日陰」であった。これは昨今の猛暑が影響していることや観光客や高齢者が多く訪れる地域の特徴が表れている。次いで、「イベント・利活用」の意見が多かった。巣鴨・西巣鴨地域は公園での町会の活動や活用協定団体もあるため、公園を地域の活用の場として求める声が多かった。

●表 ヒアリングにおける公園への要望（巣鴨・西巣鴨地域）

巣鴨・西巣鴨地域（合計：115件）			
順位	カテゴリ	意見数	概要
1	休憩場所・日陰	15	日陰施設（屋根や木陰等）の導入、休憩できるベンチ 等
2	イベント・利活用	12	町会のお祭りやイベント、子ども・若者が楽しめるイベント等
3	施設・設備の充実	8	きれいで清潔なトイレ、時計塔の設置 等
〃	防災機能・活動	〃	防災訓練とあわせた防災イベントの実施、かまどベンチの設置 等
5	遊具	6	遊具が少ない、小学生向け遊具の設置 等
〃	防犯・安全	〃	死角がなく見通しが良い、外に飛び出さない対策 等
〃	広場	〃	子どもが遊べる広場、町会等のイベントに使える広場 等
8	子どもの利用	5	子ども（小学生）が遊べる公園が無い、平日は放課後に利用したい 等
〃	町会の運営	〃	ラジオ体操実施、園内に待機所を作り、町会で公園管理したい 等
10	ボール遊び	4	ボール遊び場の設置、利用ルールづくり 等
〃	再構築への要望・進め方	〃	地域の意見を聞いてほしい、公園に特徴を付けるのは良い 等
〃	憩える場所	〃	多世代が集まれる場所、高齢者が気軽に集まれる場 等
〃	ソフト機能の充実	〃	おもちゃ倉庫のおもちゃの定期的な更新 等
〃	インクルーシブ	〃	障害をもっている子どもが使える公園がない 等

※『意見数』は、一人においても複数の意見があれば、意見毎で1つの意見として整理

③ 区民ニーズの把握（アンケート） 対象：保育園、小学生、中学生

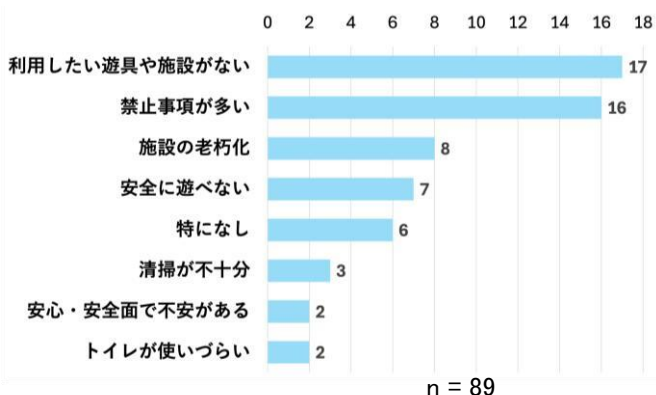
主な公園の課題

公園の課題は「利用したい遊具や施設がない」、「禁止事項が多い」という意見が多かった。

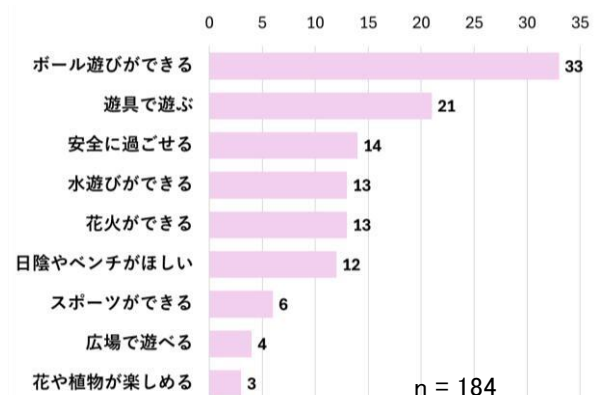
公園でやりたいこと

公園でやりたいことは「ボール遊びができる」、「遊具で遊ぶ」が上位であった。また、「安全に過ごせる」の意見も多く、公園の防犯面の改善も求められている。

●図 主な公園の課題



●図 公園でやりたいこと



2-1 巣鴨・西巣鴨地域における検討結果

④ 区民ニーズの把握(ワークショップ)

【第1回ワークショップ】

アンケートやヒアリングの意見等を踏まえ、
各モデル地域の公園のニーズと課題解決策のアイデア出し

【第2回ワークショップ】

第1回ワークショップの検討内容を踏まえ、
各公園の役割と機能分担を検討

●表 ワークショップ開催概要

地域	日付	場所	参加人数
巣鴨・西巣鴨地域	2025年6月29日(日)	区民ひろば西巣鴨第一	10名
	2025年8月31日(日)		9名

【第1回ワークショップ】

(1)「今の公園の現状」へのご意見(抜粋)

- ・ 小さな公園に多数の施設が設置されており、窮屈になっている。
- ・ 同じ遊具が地域内の公園に設置されており、魅力的でない。
- ・ 誰にでも分かる「多言語表記とピクトのサイン」が必要。
- ・ 禁止事項が多く、利用しづらい。

(2)「これからのまちの公園」へのご意見(抜粋)

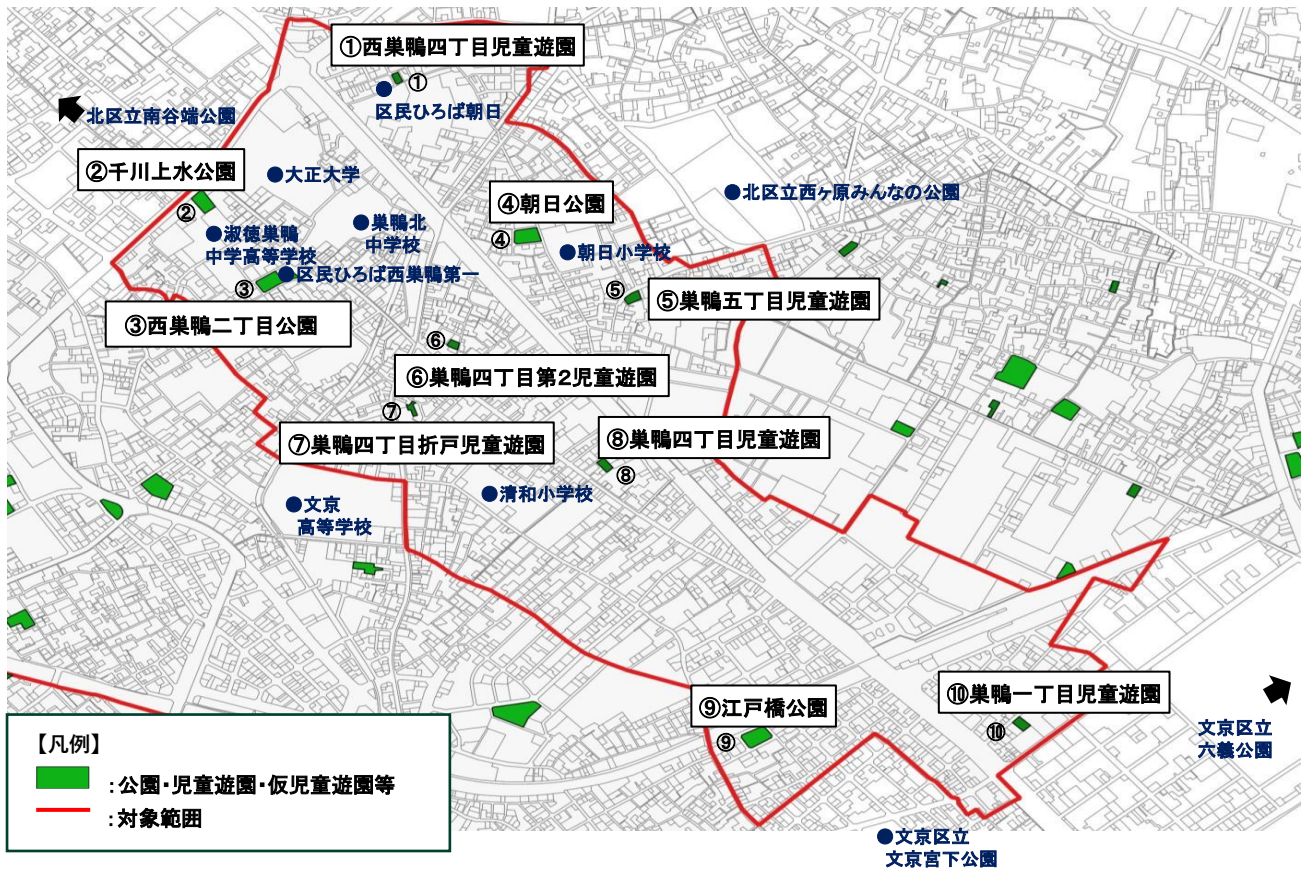
- ・ 公園に親近感を持たせるために、各園に「ニックネーム」をつける。
- ・ 幼児、児童で遊ぶ公園を分けたり、ゾーンを分けるのが良い。
- ・ 日よけだけでなく、植物で日差しを避けられる場所も欲しい。
- ・ 維持管理費(ランニングコスト)を考えた公園計画が必要。



ワークショップの様子

2-1 巣鴨・西巣鴨地域における検討結果

● 図 巣鴨・西巣鴨地域 公園位置



①西巣鴨四丁目児童遊園



②千川上水公園



③西巣鴨二丁目公園



④朝日公園



⑤巣鴨五丁目児童遊園



⑥巣鴨四丁目第2児童遊園



⑦巣鴨四丁目折戸児童遊園



⑧巣鴨四丁目児童遊園



⑨江戸橋公園



⑩巣鴨一丁目児童遊園



2-1 巣鴨・西巣鴨地域における検討結果

【第2回ワークショップ】

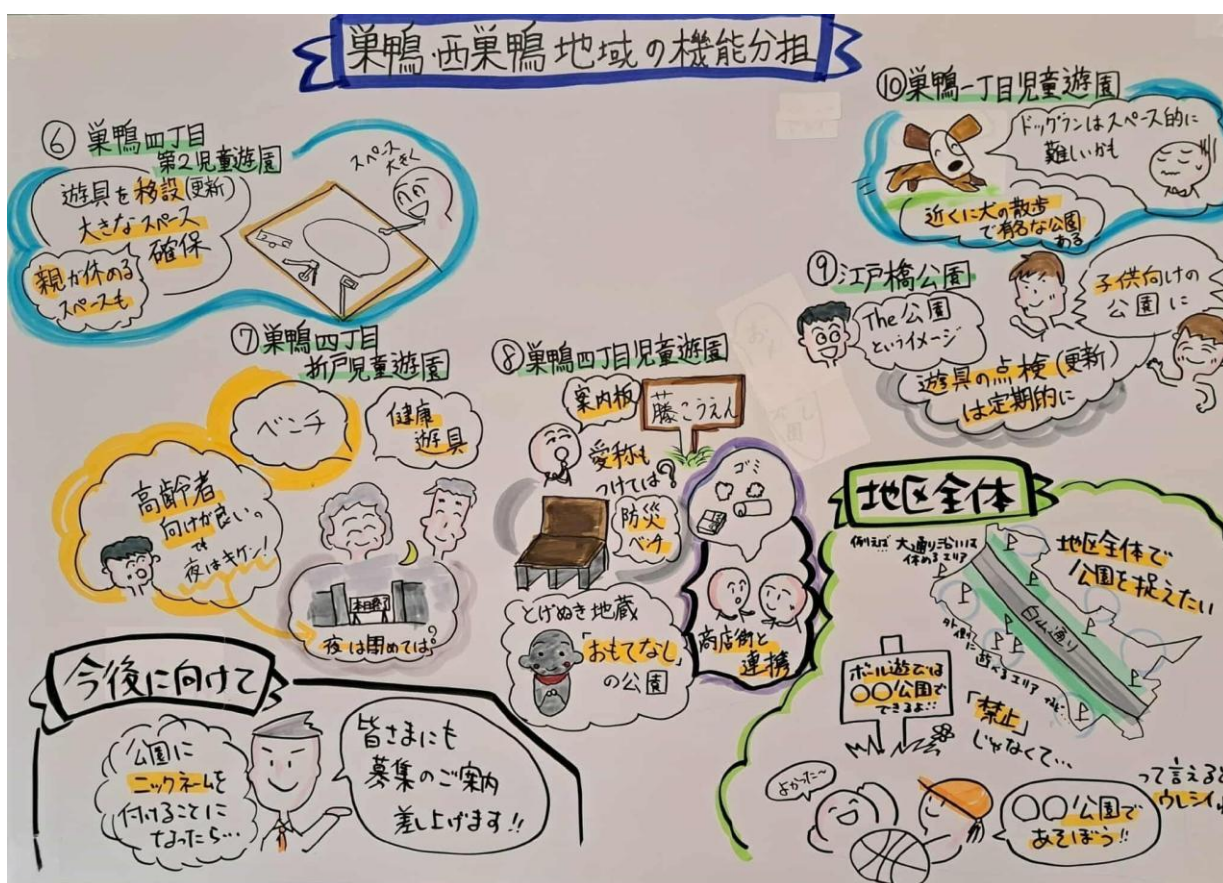
●表 各公園の再構築への意見

対象公園	再構築へのご意見	ポイント
地域全体	<ul style="list-style-type: none"> ・「日よけ」は全般的に必要と考える ・「地域全体」で公園を捉えたい ・「禁止」じゃなくて「肯定」でサイン表示されている良い ・「愛称」で呼べる特徴ある再構築になると良い ・子どもは大通りを渡れないので子ども目線で機能分担が必要 	日よけは各公園に必要
①西巣鴨四丁目児童遊園	<ul style="list-style-type: none"> ・現状のハーブガーデン、おもちゃ倉庫、町会活動を活かす ・日陰のベンチが必要 ・現在のひろばの広さは維持(遊具を置かない) 	現状維持 +日よけ
②千川上水公園	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史に由来した「水」施設を導入し、大通り沿いの「区の顔になる公園」に再構築 ・地元の活動ができる広場がほしい ・歴史が分かるようにするのが良い 	親水施設を導入し機能更新
③西巣鴨二丁目公園	<ul style="list-style-type: none"> ・現状の「公園活用」(ハーブガーデン、イベント開催)を維持 ・ウッドデッキに日よけをつける ・ボール遊びのイメージは無い ・遊具よりは広さを活かして遊ぶ 	現状維持
④朝日公園	<ul style="list-style-type: none"> ・現状の「ボール遊び」の機能を活かし「小学生高学年～中高生～大人」を利用対象とした再構築 ・避難場所の朝日小学校と連携した「防災施設」の導入も良い 	スポーツ、児童に特化
⑤巣鴨五丁目児童遊園	<ul style="list-style-type: none"> ・町会の活用がやり易い広場の確保 ・利用者層である「幼児」を対象とした再構築 ・古い遊具を撤去し、他にない「特徴のある遊具」への更新 ・ベンチが少ないのでサクラの木陰に増やしても良い 	幼児に特化
⑥巣鴨四丁目第2児童遊園	<ul style="list-style-type: none"> ・遊具移設して、町会の活用がやり易い広場の確保 ・利用者層である「幼児」を対象とした再構築 	幼児に特化
⑦巣鴨四丁目折戸児童遊園	<ul style="list-style-type: none"> ・現状の活動(協定花壇、町会活動等)を活かす ・利用者層である「お年寄り」を対象とし、日よけのあるベンチが必要 ・使っていない鉄棒を撤去して健康遊具の導入 	現状維持 +日よけ
⑧巣鴨四丁目児童遊園	<ul style="list-style-type: none"> ・現状の憩いと町会の活用を維持(ミニSLのイベントを予定) ・ベンチはかまどベンチに一部交換 	現状維持
⑨江戸橋公園	<ul style="list-style-type: none"> ・現状の「遊具が豊富」という特徴を活かした再構築 ・楽しい遊具に更新して魅力アップ ・近接の文京宮下公園に「ボール遊び場」と「インクルーシブ遊具」があるため、不要 	幼児、児童機能更新
⑩巣鴨一丁目児童遊園	<ul style="list-style-type: none"> ・特徴が不明確なので「インクルーシブ遊具」や「健康遊具」の導入で特徴付ける再構築が良い ・ドッグランは民家に近く小さいので難しい ・近接の文京区立六義公園に「ボール遊び場」と「水遊び場」があるため、不要 	インクルーシブ遊具入れて特徴付け

2-1 巣鴨・西巣鴨地域における検討結果

【第2回ワークショップ】

● 図 各公園への意見を可視化(グラフィックレコーディング)



2-1 巣鴨・西巣鴨地域における検討結果

⑤ 地域の特徴を踏まえた公園の役割と機能分担

①～④の検討結果を踏まえ、地域の方向性を取りまとめ、巣鴨・西巣鴨地域の各公園の役割と機能分担を行った。

【地域の方向性】






























- ・ 巣鴨・西巣鴨地域に設置されていない「親水施設」を千川上水公園、「インクルーシブ遊具」を巣鴨一丁目児童遊園へ設置する方向で進める。
- ・ 巣鴨五丁目児童遊園は古い遊具を更新して「幼児向け遊具」をメイン機能へ特化する。
- ・ 巣鴨四丁目折戸児童遊園は遊具を設置せず、「憩い」をメイン機能へ特化する。

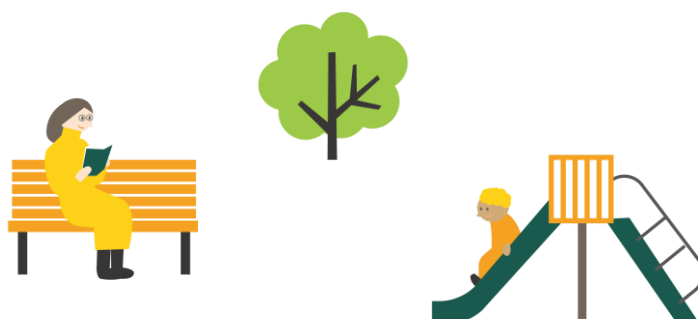
● 図 公園の役割と機能分担(巣鴨・西巣鴨地域)



2-1 巣鴨・西巣鴨地域における検討結果

●表 各公園の役割と機能分担(巣鴨・西巣鴨地域)

公園名称	公園の役割	メイン機能	サブ機能
①西巣鴨四丁目児童遊園	みどり・自然に親しむ		 
②千川上水公園	のびのび遊べる	 	
③西巣鴨二丁目公園	みどり・自然に親しむ	 	 
④朝日公園	健康・スポーツを楽しむ	 	
⑤巣鴨五丁目児童遊園	のびのび遊べる		 
⑥巣鴨四丁目第2児童遊園	のびのび遊べる		 
⑦巣鴨四丁目折戸児童遊園	くつろぎ・憩える		 
⑧巣鴨四丁目児童遊園	くつろぎ・憩える		
⑨江戸橋公園	のびのび遊べる	 	
⑩巣鴨一丁目児童遊園	のびのび遊べる		 



2 - 2

高田地域における検討結果



2-2 高田地域における検討結果

① 地域別の公園施設の実態把握

高田地域は、12の地域で最も公園数が少ない地域である。「地域の核となる公園」は高田第三公園の1園のみで、面積は1,000㎡程度である。

公園施設については、幼児向け遊具や児童向け遊具は一定数設置されているが、親水施設、インクルーシブ遊具、ボールひろば等が1園も無い。

●表 高田地域の公園リスト

令和7年12月時点

公園名称		単位	① 高田第三公園	② 高田中央 三丁目公園	③ 高田二丁目 中央児童遊園	④ 高田公園	⑤ 高田一丁目 児童遊園	⑥ 山吹の里公園	⑦ 高田第二公園
面積		㎡	1,013	948	331	728	466	603	867
公園規模			核・小	核・小	核・小	核・小	核・小	核・小	核・小
のびのび 遊べる	幼児向け遊具	個	4	1	3	2		1	2
	児童向け遊具	個	1	1	1	2		1	3
	親水施設	箇所							
	インクルーシブ	個							
健康・スポーツ を楽しむ	かけっこ広場	有無	○	○		○	○	○	○
	健康遊具	個							
健康・スポーツ を楽しむ	ボールひろば	有無							
	豊かな緑	有無						○	
みどり・自然 に親しむ	ビオトープ・池	有無				○			
	協定花壇	有無		○					
	自然体験	有無							
くつろぎ・ 憩える	日よけ	有無	○		○			○	
	憩い(ベンチ等)	人	6	11	10	8	4	9	5
安全・安心 を担う	防災機能	有無							
	防災訓練	有無							
交流・にぎわい を育てる	公園活用	有無	○	○	○		○	○	○
	ボランティア清掃	有無							

●図 高田地域の公園配置



2-2 高田地域における検討結果

② 区民ニーズの把握(意見募集およびヒアリング結果)

高田地域で一番多かった意見は、「ボール遊び」であった。高田地域は「ボールひろば(キャッチボール場)」が無く、ボール遊びをするスペースが必要とされている。次いで、「施設・設備の充実」であった。公園内のマナーの悪化などがあり、綺麗な公園を維持することが求められている。

●表 ヒアリングにおける公園への要望(高田地域)

高田地域(合計:146件)			
順位	カテゴリ	意見数	概要
1	ボール遊び	17	ボール遊び場の設置、利用ルールづくり 等
2	施設・設備の充実	12	きれいで清潔なトイレ、時計塔の設置 等
3	休憩場所・日陰	11	日陰施設(屋根や木陰等)の導入、休憩できるベンチ 等
"	遊具	"	遊具が少ない、小学生向け遊具の設置 等
5	広場	10	子どもが遊べる広場、町会等のイベントに使える広場 等
6	再構築への要望・進め方	8	地域の意見を聞いてほしい、公園に特徴を付けるのは良い 等
7	イベント・利活用	7	町会のお祭りやイベント、子ども・若者が楽しめるイベント等
"	防犯・安全	"	死角がなく見通しが良い、外に飛び出さない対策 等
"	水遊び	"	じゃぶじゃぶ池があると良い、きれいな水の親水施設が欲しい 等
10	憩える場所	6	多世代が集まれる場所、高齢者が気軽に集まれる場 等
"	ソフト機能の充実	"	おもちゃ倉庫のおもちゃの定期的な更新 等

※『意見数』は、一人においても複数の意見があれば、意見毎で1つの意見として整理

③ 区民ニーズの把握(アンケート) 対象:保育園、小学生、中学生

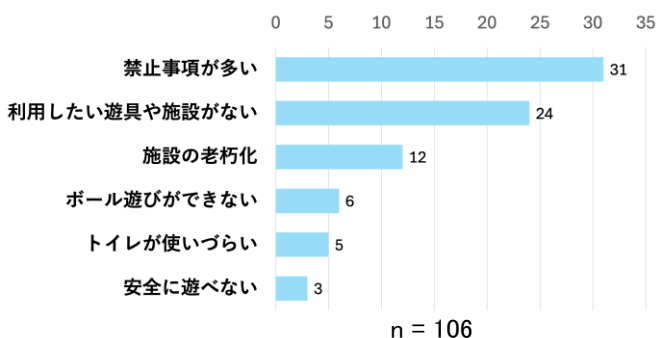
主な公園の課題

公園の課題は「禁止事項が多い」、「利用したい遊具や施設がない」という意見が多かった。

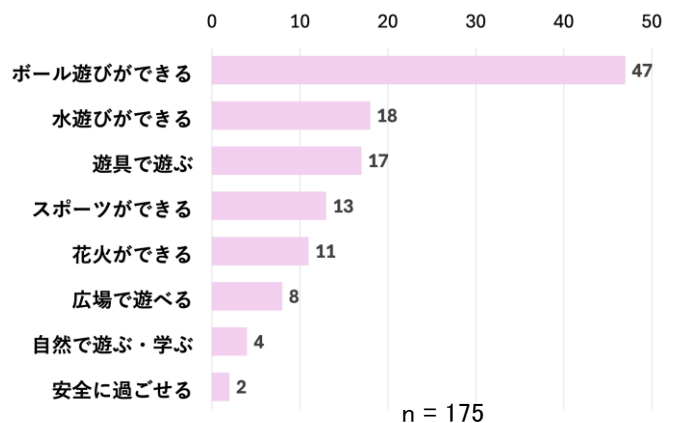
公園でやりたいこと

公園でやりたいことはヒアリング同様、「ボール遊びができる」が最も多かった。次いで、「水遊びができる」が挙げられており、現在、高田地域に設置されていない施設が求められている。

●図 主な公園の課題



●図 公園でやりたいこと



2-2 高田地域における検討結果

④ 区民ニーズの把握(ワークショップ)

【第1回ワークショップ】

アンケートやヒアリングの意見等を踏まえ、
各モデル地域の公園のニーズと課題解決策のアイデア出し

【第2回ワークショップ】

第1回ワークショップの検討内容を踏まえ、
各公園の役割と機能分担を検討

●表 ワークショップ開催概要

地域	日付	場所	参加人数
高田地域	2025年7月6日(日)	高田第二区民集会室	22名
	2025年8月24日(日)		9名

【第1回ワークショップ】

(1)「今の公園の現状」へのご意見(抜粋)

- ・ 禁止事項が多く、利用しづらい。
- ・ 利用したい遊具や施設が無い。同じ遊具が多い。
- ・ タバコやポイ捨て等のゴミが多い。
- ・ 夜間、公園で騒いでいる。

(2)「これからのまちの公園」へのご意見(抜粋)

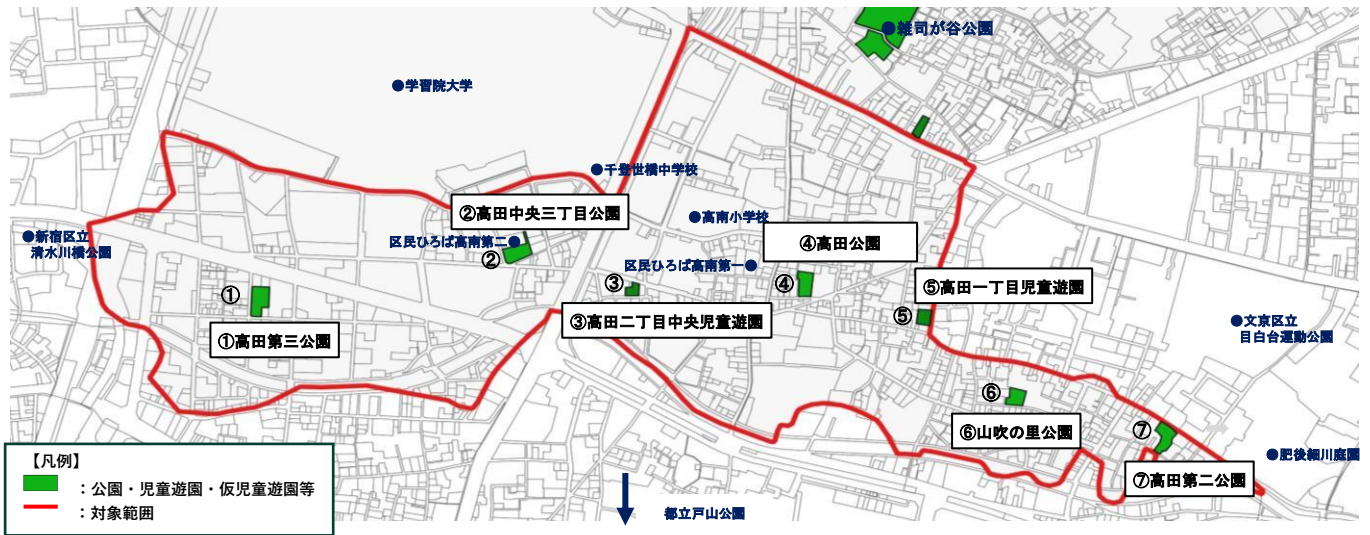
- ・ 酷暑対策として、ミスト等の親水施設が欲しい。
- ・ 日よけ施設や木陰が欲しい。
- ・ ボール遊びは公園以外の「学校」「運動施設」等でも活用を検討する。
- ・ 分かり易い案内サインや情報発信の掲示板の設置をしてほしい。
- ・ 多世代が憩える場所が欲しい。



ワークショップの様子

2-2 高田地域における検討結果

● 図 モデル地域 公園位置(高田地域)



①高田第三公園



②高田中央三丁目公園



③高田二丁目中央児童遊園



④高田公園



⑤高田一丁目児童遊園



⑥山吹の里公園



⑦高田第二公園



2-2 高田地域における検討結果

【第2回ワークショップ】

●表 各公園の再構築への意見

対象公園	再構築へのご意見	ポイント
地域全体	<ul style="list-style-type: none"> ・「日よけ」は全般的に必要と考える ・樹木剪定で園内の見通しを改善 	日よけは各公園に必要
①高田第三公園	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で一番広い公園のため、広場スペースを維持してほしい ・町会の活用ができるスペースを維持してほしい ・利用者マナー(喫煙、ポイ捨て、夜間の騒ぎ等)を改善 ・子ども達がのびのび遊べるように ・シンボルツリー(サクラ)を残して公園にニックネームをつける 	現状維持 + マナー対策
②高田中央三丁目公園	<ul style="list-style-type: none"> ・改修中の区民ひろばと一体となった再構築 ・「親水施設」の導入 ・花がきれいなので「協定花壇」を拡充してほしい ・見通しが悪い入口の改善 	親水施設の導入、 区民ひろばと連携
③高田二丁目中央児童遊園	<ul style="list-style-type: none"> ・利用実態(ランチタイム利用が多い)から「日よけのあるベンチ」を追加して「遊具」は無くても良い ・町会イベントに広いスペースが必要 ・憩いの場所に酷暑対策のミストを導入してほしい ・児童は「校庭開放」も連携して遊ぶのが良い 	憩いに特化
④高田公園	<ul style="list-style-type: none"> ・学校帰りの児童利用が多いので「児童用遊具」に特化した再構築 ・自動灌水装置の導入で協定花壇の支援 ・ボール遊びは「校庭開放」で行うのが良い ・遊び動線の交錯は遊具配置見直しで解消させる 	児童に特化
⑤高田一丁目児童遊園	<ul style="list-style-type: none"> ・現状の広場を活かして町会の活用も維持しつつ、広さを活かした「防災機能」を追加する再構築 ・ボール遊びは「校庭開放」で行うのが良い ・今ある広さを維持したい ・「おもちゃ倉庫」を導入して遊べる場にしたい 	現状維持
⑥山吹の里公園	<ul style="list-style-type: none"> ・現状のサクラを活かして「憩い」の公園としつつ、お年寄り向けの「健康遊具」も導入したい ・「協定花壇」をやりたい ・園庭の無い保育園児も遊べる「幼児用遊具」を導入 ・児童のための「複合遊具」を設置 	憩いに特化、 健康遊具導入
⑦高田第二公園	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園が近接しているため「幼児」を対象とした再構築 ・「インクルーシブ遊具」も導入してほしい。トイレもバリアフリー対応なのでインクルーシブとの親和性も高い 	幼児に特化、 インクルーシブ導入

2-2 高田地域における検討結果

【第2回ワークショップ】

● 図 各公園への意見を可視化(グラフィックレコーディング)



2-2 高田地域における検討結果

⑤ 地域の特徴を踏まえた公園の役割と機能分担

①～④の検討結果を踏まえ、地域の方向性を取りまとめ、高田地域の各公園の役割と機能分担を行った。

【地域の方向性】

- 高田地域に設置されていない「親水施設」を高田中央三丁目公園、「インクルーシブ遊具」を高田第二公園へ設置する方向で進める。
- 高田公園は老朽化した遊具が複数設置されているため、導線を確保しながら「児童向け遊具」をメイン機能へ特化する。
- 山吹の里公園は「憩い」をメイン機能へ特化し、高齢者の利用を見据えた「健康遊具」をサブ機能に導入する。

● 図 公園の役割と機能分担（高田地域）



● 表 各公園の役割と機能分担（高田地域）

公園名称	公園の役割	メイン機能	サブ機能
①高田第三公園	のびのび遊べる		
②高田中央三丁目公園	のびのび遊べる		
③高田二丁目中央児童遊園	くつろぎ・憩える		
④高田公園	のびのび遊べる		
⑤高田一丁目児童遊園	のびのび遊べる		
⑥山吹の里公園	くつろぎ・憩える		
⑦高田第二公園	のびのび遊べる		

2 - 3

高松・要町・千川地域における検討結果



2-3 高松・要町・千川地域における検討結果

① 地域別の公園施設の実態把握

高松・要町・千川地域は、ふるさと千川ひろば以外の公園は全て「小規模公園」であり、そのうち、500㎡未満の公園が9園あるのが特徴である。

公園施設については、ボールひろばがふるさと千川ひろばに設置されているが、親水施設、インクルーシブ遊具の施設が1園も無い。

今後、小規模公園の新規整備が2園予定されている。

令和7年12月時点

●表 高松・要町・千川地域の公園リスト

公園名称	単位	① 千川彫刻公園	② 要町一丁目児童遊園	③ 高松一丁目児童遊園	④ 高松二丁目児童遊園	⑤ 高松三丁目児童遊園	⑥ 千川二丁目第2児童遊園	⑦ 千川二丁目中央児童遊園	⑧ 千川二丁目児童遊園	⑨ 要町一丁目広場	⑩ 富士浅間神社境内仮児童遊園	⑪ ふるさと千川ひろば	⑫ 高松一丁目公園予定地	⑬ 高松三丁目公園予定地
面積	㎡	645	333	354	300	440	305	316	425	161	330	2,971	688	622
公園規模		核<小>	核<小>	核<小>	核<小>	核<小>	核<小>	核<小>	核<小>	核<小>	核<小>	核<小>	核<小>	核<小>
のびのび遊べる	幼児向け遊具	個	3	1	2	5	1	3	3		1			
	児童向け遊具	個		2	2	2					3			
	親水施設	箇所								ミスト				
	インクルーシブ	個												
	かけっこ広場	有無					○	○	○			○		
健康・スポーツを楽しむ	健康遊具	個												
	ボールひろば	有無										○ (バスケ)		
みどり・自然に親しむ	豊かな緑	有無												
	ビオトープ・池	有無												
	協定花壇	有無				○		○	○					
	自然体験	有無												
くつろぎ・憩える	日よけ	有無						○						
	憩い(ベンチ等)	人	10	1	4	6	2	3	3	8	3	2	4	
安全・安心を担う	防災機能	有無										○		
	防災訓練	有無			○									
交流・にぎわいを育てる	公園活用	有無				○				○				
	ボランティア清掃	有無												

●図 高松・要町・千川地域の公園配置



2-3 高松・要町・千川地域における検討結果

② 区民ニーズの把握(意見募集およびヒアリング結果)

高松・要町・千川・地域で一番多かった意見は、「再構築への要望・進め方」についてであった。この地域は新規で整備する予定の公園があるため、整備にあたっては、地域の意見を聞いてほしいという意向が多かった。次いで、猛暑対策として「休憩場所・日陰」の設置が多かった。

●表 ヒアリングにおける公園への要望(高松・要町・千川地域)

高松・要町・千川・地域(合計:85件)			
順位	カテゴリ	意見数	概要
1	再構築への要望・進め方	9	地域の意見を聞いてほしい、公園に特徴を付けるのは良い 等
2	休憩場所・日陰	8	日陰施設(屋根や木陰等)の導入、休憩できるベンチ 等
3	遊具	6	遊具が少ない、小学生向け遊具の設置 等
"	憩える場所	6	多世代が集まれる場所、高齢者が気軽に集まれる場 等
5	子どもの利用	5	子ども達(小学校高学年)の遊べるところが無い 等
6	ボール遊び	4	ボール遊び場の設置、利用ルールづくり 等
"	施設・設備の充実	"	きれいで清潔なトイレ、時計塔の設置 等
"	イベント・利活用	"	町会のお祭りやイベント、子ども・若者が楽しめるイベント 等
"	花・自然体験	"	自然体験が出来る、「花」を感じられる場所 等
"	高齢者の利用	"	高齢者が使い易いようにしてほしい、孫と遊べる公園がない 等
11	インクルーシブ	3	障害をもっている子どもが使える公園がない 等
"	水遊び	"	じゃぶじゃぶ池があると良い、きれいな水の親水施設が欲しい 等

※『意見数』は、一人においても複数の意見があれば、意見毎で1つの意見として整理

③ 区民ニーズの把握(アンケート) 対象:保育園、小学生、中学生

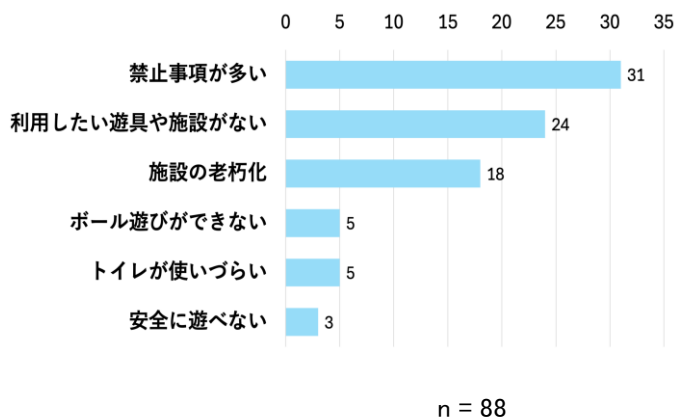
主な公園の課題

公園の課題は「禁止事項が多い」、「利用したい遊具や施設がない」という意見が多かった。

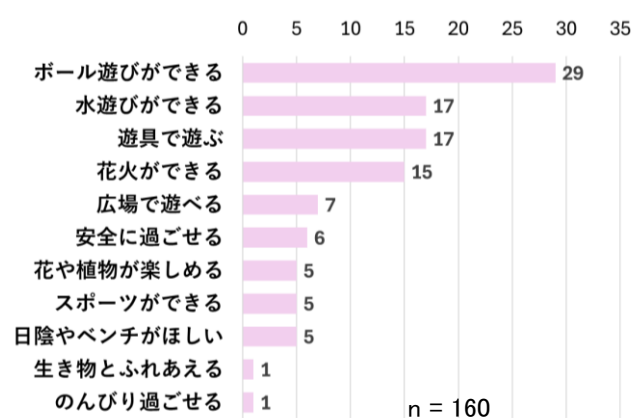
公園でやりたいこと

公園でやりたいことは「ボール遊びができる」が最も多かった。次いで、「水遊びができる」、「遊具で遊ぶ」が挙げられており、地域内に設置されていない「水遊び」の施設が求められている。

●図 主な公園の課題



●図 公園でやりたいこと



2-3 高松・要町・千川地域における検討結果

④ 区民ニーズの把握(ワークショップ)

【第1回ワークショップ】

アンケートやヒアリングの意見等を踏まえ、
各モデル地域の公園のニーズと課題解決策のアイデア出し

【第2回ワークショップ】

第1回ワークショップの検討内容を踏まえ、
各公園の役割と機能分担を検討

●表 ワークショップ開催概要

地域	日付	場所	参加人数
高松・要町・千川地域	2025年8月3日(日)	区民ひろば高松	16名
	2025年9月21日(日)		14名

【第1回ワークショップ】

(1)「今の公園の現状」へのご意見(抜粋)

- ・ 遊具ばかりではなく、自由に使える平らな広場が必要。
- ・ 地域住民の高齢化が進んでいる為、憩いの広場が必要。
- ・ 近隣住民のニーズや利用する世代に合わせた再整備をして欲しい。

(2)「これからのまちの公園」へのご意見(抜粋)

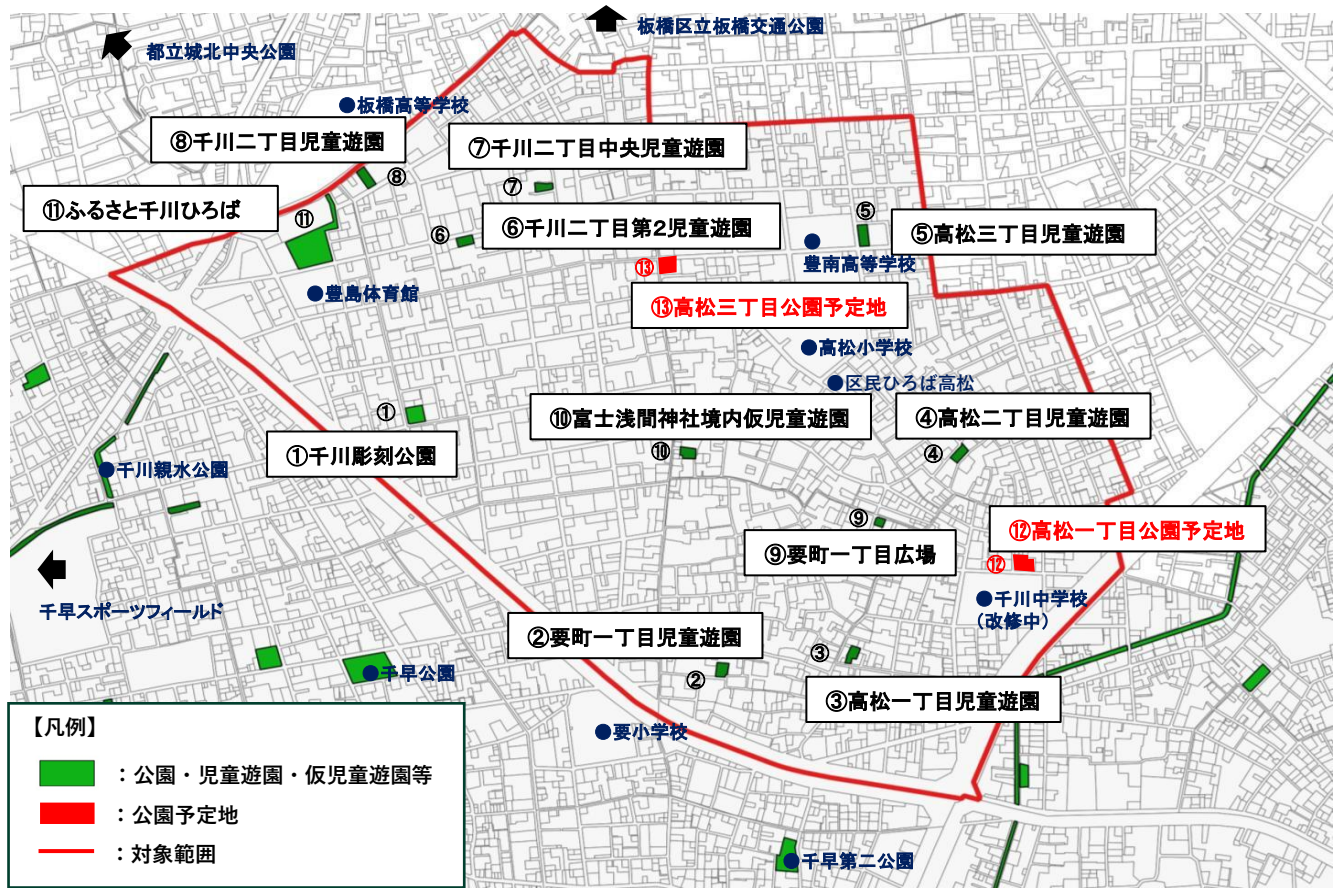
- ・ 遊具のある公園、自由な広場等のメリハリをつける。
- ・ テーブルやベンチ等があり、人が集まれる公園。
- ・ 車椅子やベビーカーが入り易い公園。
- ・ 各公園に分かり易い名前や愛称をつける。
- ・ 地域内には「広い公園」が1か所は必要。



ワークショップの様子

2-3 高松・要町・千川地域における検討結果

● 図 モデル地域 公園位置(高松・要町・千川地域)



①千川彫刻公園



②要町一丁目児童遊園



③高松一丁目児童遊園



④高松二丁目児童遊園



⑤高松三丁目児童遊園



⑥千川二丁目第2児童遊園



⑦千川二丁目中央児童遊園



⑧千川二丁目児童遊園



⑨要町一丁目広場



⑩富士浅間神社境内仮児童遊園



⑪ふるさと千川ひろば



⑫高松一丁目公園予定地



⑬高松三丁目公園予定地



2-3 高松・要町・千川地域における検討結果

【第2回ワークショップ】

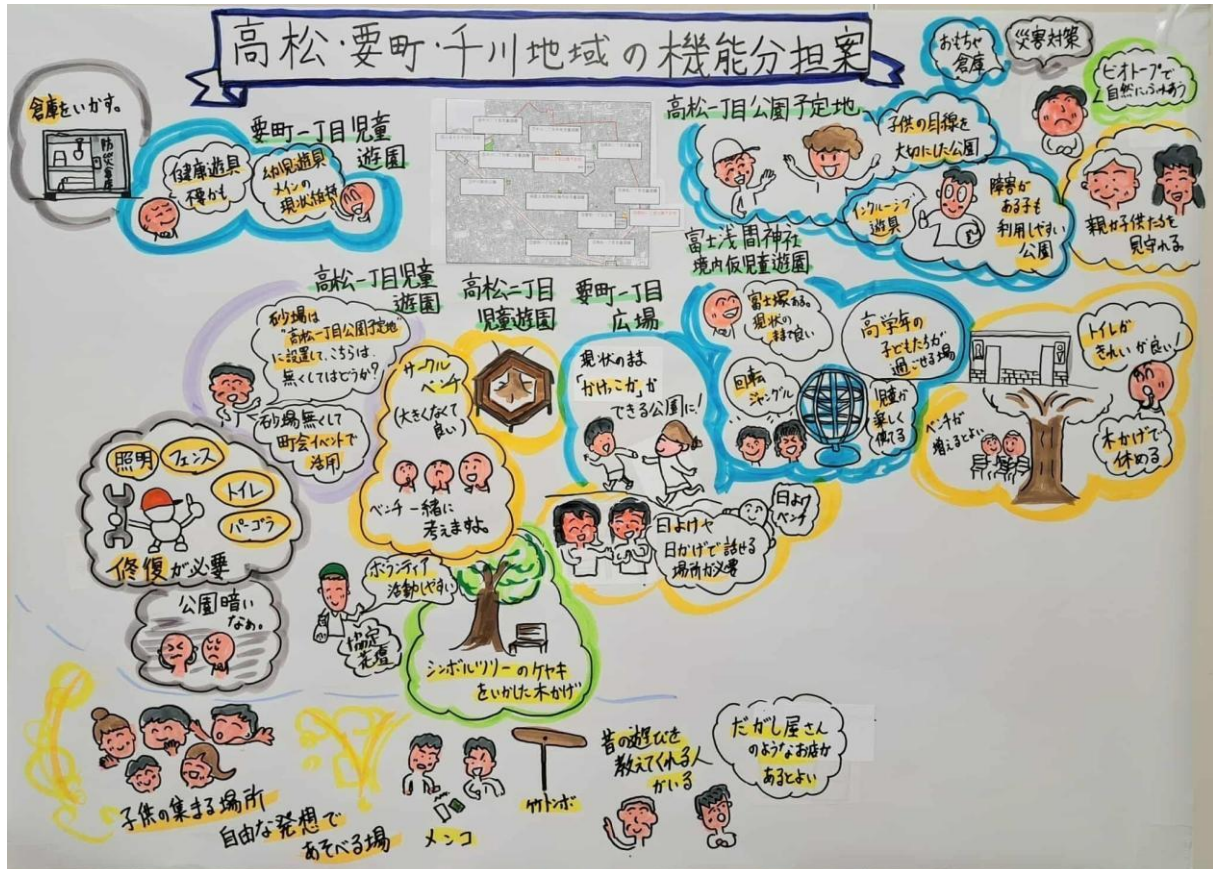
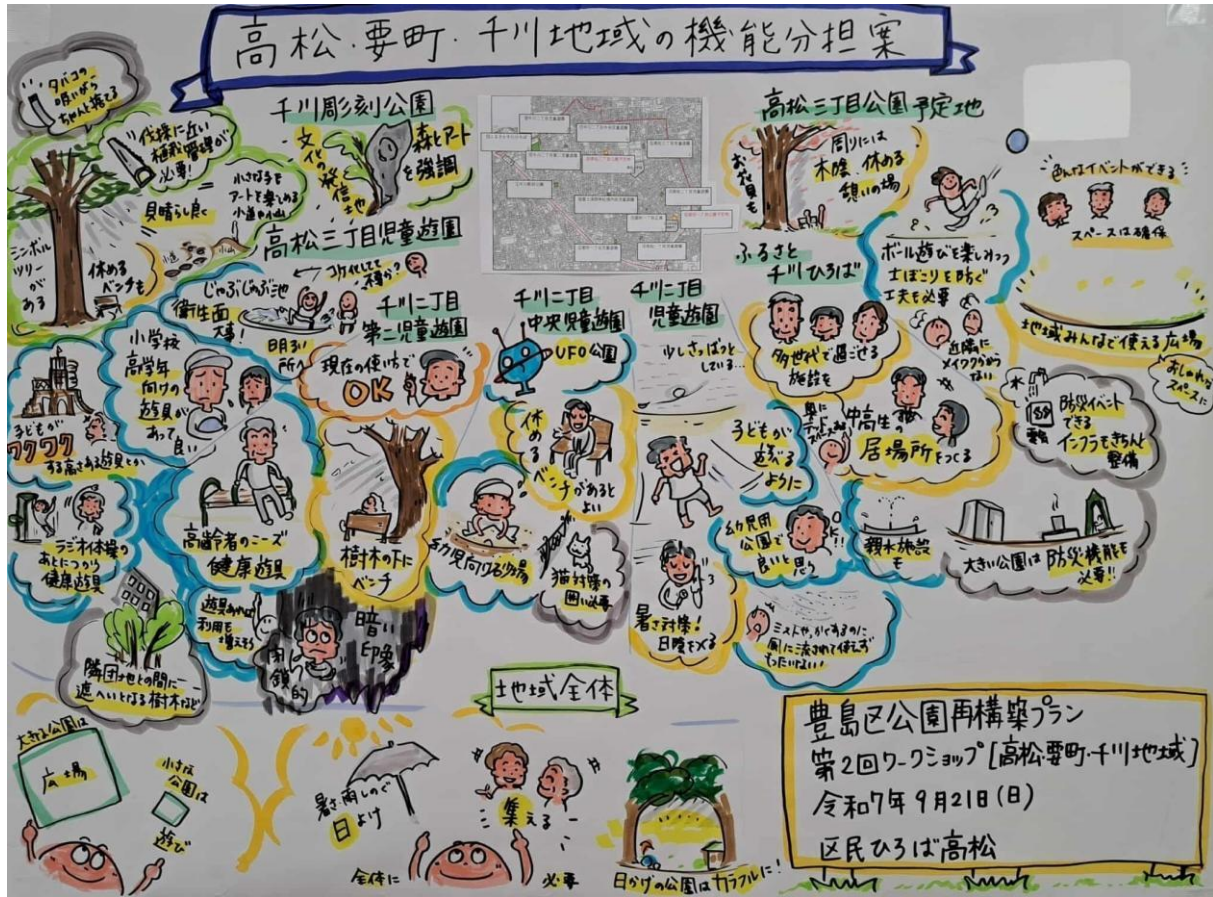
●表 各公園の再構築への意見

対象公園	再構築への意見	ポイント
地域全体	<ul style="list-style-type: none"> ・「日よけ」は一般的に必要と考える ・日陰の公園はカラフルにしたい ・大きな緑陰の下には「ベンチ」を設置したい 	日よけは各公園に必要
①千川彫刻公園	<ul style="list-style-type: none"> ・現状の森・樹木、庭園、彫刻を活かす再構築 ・伐採ではなく「樹木剪定」で死角をなくす 	現状維持
②要町一丁目児童遊園	<ul style="list-style-type: none"> ・現状の利用が多い「幼児」を対象とした再構築 ・保育園も近接しているため「幼児用遊具」の導入 	幼児に特化
③高松一丁目児童遊園	<ul style="list-style-type: none"> ・町会の活用がやり易い広場化と「日よけ」と「憩い」の再構築 ・砂場を撤去して広場にしたい ・パーゴラ、フェンス、トイレの改善が必要 	憩いに特化
④高松二丁目児童遊園	<ul style="list-style-type: none"> ・現状の利用が多い「幼児」を対象とした再構築 ・「協定花壇」の支援の拡充 ・シンボルツリーの下に「ベンチ」を設置 	幼児に特化
⑤高松三丁目児童遊園	<ul style="list-style-type: none"> ・現状の利用が多い「児童」を対象とした再構築 ・町会の活用がやり易い広場がほしい ・木陰が多いので「日よけ」の設置は不要 ・木陰の下は苔が生えるため「親水施設」は不要 	児童に特化
⑥千川二丁目第2児童遊園	<ul style="list-style-type: none"> ・現状の樹木(高木)を維持して木陰にベンチがほしい ・お年寄りのニーズがありそうなので「健康遊具」を導入 	現状維持
⑦千川二丁目中央児童遊園	<ul style="list-style-type: none"> ・現状の利用が多い「幼児」を対象とした機能の維持 ・「UFO遊具」は残して欲しい ・ダスト舗装の「砂埃」対策が必要 	現状維持
⑧千川二丁目児童遊園	<ul style="list-style-type: none"> ・現状の利用が多い「幼児」を対象とした機能の維持 ・リニューアルした「幼児」の機能のままで良い 	現状維持
⑨要町一丁目広場	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園や幼稚園が近いので「日よけ」等を設置して憩える空間が必要 ・井戸端会議が出来るように「ベンチ」を設置してほしい 	現状維持
⑩富士浅間神社境内仮児童遊園	<ul style="list-style-type: none"> ・現状の利用が多い「児童」の機能を維持したい ・座れるところが無いので、木陰にベンチがほしい ・「回転ジャングルジム」は最近ではなかなか無いので貴重 	児童に特化
⑪ふるさと千川ひろば	<ul style="list-style-type: none"> ・特徴ある「ボール遊び」と町会等の公園活用の維持 ・活用されていない小道沿いに「水施設」を導入 	現状維持 + 親水施設
⑫高松一丁目公園予定地	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校跡地の一部に障害者施設が入るので、併せて「インクルーシブ遊具」を導入したい ・「おもちゃ倉庫」の導入 	インクルーシブ機能導入
⑬高松三丁目公園予定地	<ul style="list-style-type: none"> ・外周に「緑」があり、「防災訓練」も可能な多目的な広場にしたい ・「憩い」、「日よけ」は設置したい ・イベントを考慮した「インフラ(電源・給水等)」の導入 ・「日陰」で座れる場所がある公園 	広場に特化

2-3 高松・要町・千川地域における検討結果

【第2回ワークショップ】

● 図 各公園への意見を可視化(グラフィックレコーディング)



2-3 高松・要町・千川地域における検討結果

⑤ 地域の特徴を踏まえた公園の役割と機能分担

①～④の検討結果を踏まえ、地域の方向性を取りまとめ、高松・要町・千川地域の各公園の役割と機能分担を行った。

【地域の方向性】
































- ・ 高松・要町・千川地域に設置されていない「親水施設」をふるさと千川ひろば、「インクルーシブ遊具」を高松一丁目公園予定地へ設置する方向で進める。
- ・ 高松一丁目児童遊園は老朽化した遊具を撤去し「憩い」をメイン機能へ特化する。
- ・ 高松三丁目公園予定地は広く使える「広場」をメイン機能へ特化し、「公園活用」や「防災機能」をサブ機能に導入する。

● 図 公園の役割と機能分担（高松・要町・千川地域）



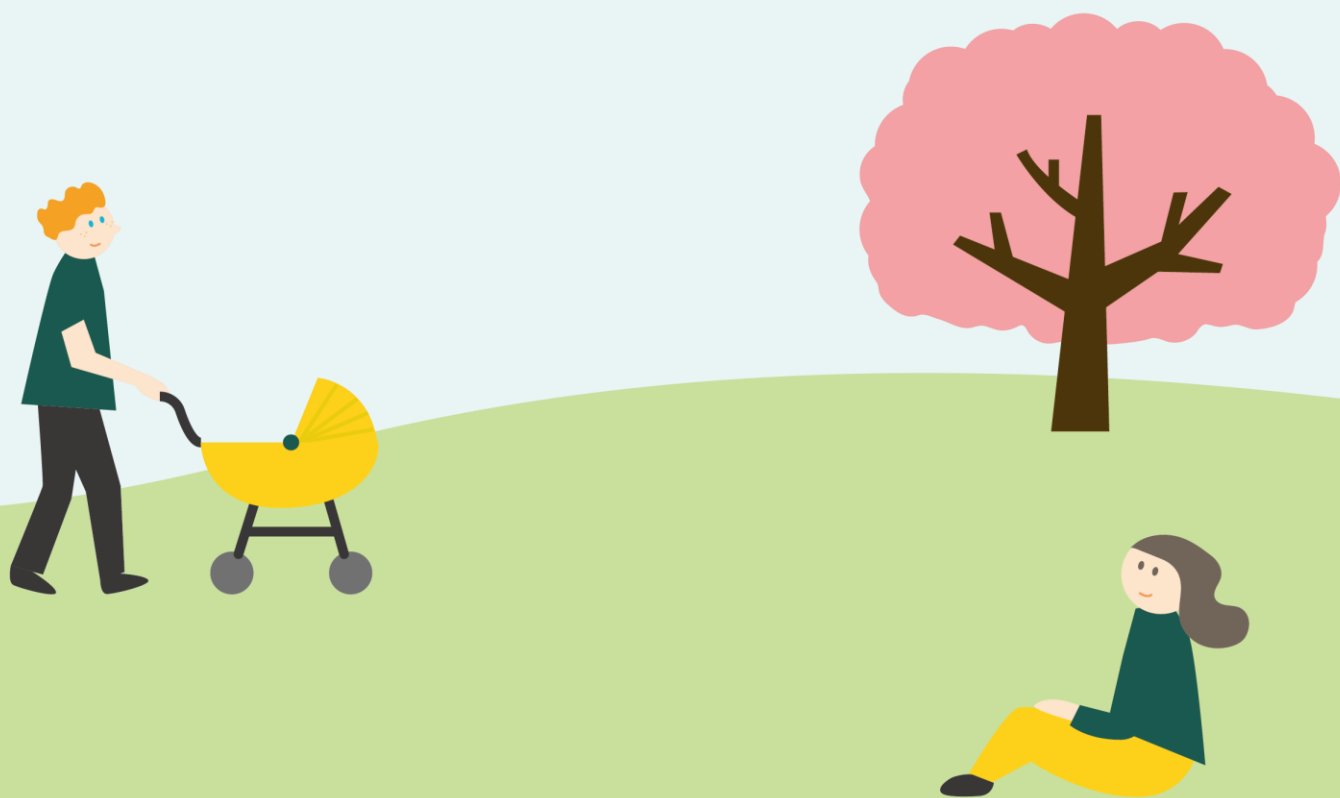
2-3 高松・要町・千川地域における検討結果

●表 各公園の役割と機能分担(高松・要町・千川地域)

公園名称	公園の役割	メイン機能	サブ機能
①千川彫刻公園	みどり・自然に親しむ		
②要町一丁目児童遊園	のびのび遊べる		
③高松一丁目児童遊園	くつろぎ・憩える		 
④高松二丁目児童遊園	のびのび遊べる		 
⑤高松三丁目児童遊園	のびのび遊べる		 
⑥千川二丁目第2児童遊園	のびのび遊べる		
⑦千川二丁目中央児童遊園	のびのび遊べる		
⑧千川二丁目児童遊園	のびのび遊べる		 
⑨要町一丁目広場	くつろぎ・憩える		
⑩富士浅間神社境内仮児童遊園	のびのび遊べる		
⑪ふるさと千川ひろば	健康・スポーツを楽しむ	 	
⑫高松一丁目公園予定地	のびのび遊べる		 
⑬高松三丁目公園予定地	のびのび遊べる		 

3 - 1

地域別の進め方の方針



3-1 地域別の進め方の方針

① 3つのモデル地域における整備順序の方針(別記1)

整備にあたっては、地域全体で整備効果が発揮できるように、地域ごとに各公園の再整備や部分改修を行う。

3つのモデル地域における公園の再整備の順序は、以下の視点を踏まえ、総合的に判断し、豊島区実施計画に示したうえで再整備を実施する。

- ① 公園の新設整備が予定されており、周辺公園も併せて整備することが効果的な地域
- ② 親水施設、キャッチボール場等の特徴的な施設が無い地域
- ③ 地域全体の遊具や施設の老朽化度合いを踏まえ、面的な機能更新が必要な地域

② モデル地域以外の9つの地域の検討順序の方針(別記2)

モデル地域以外の9つの地域の検討順序は、以下の地域の実状などを踏まえた視点に基づくとともに、検討地域に偏りが生じないように4つのエリアに区分し、すでに検討を行った地域を考慮したうえで、総合的に判断する。

- ① 地域の核となる公園の再整備等があり、周辺公園の役割と機能分担が必要な地域
- ② まちづくり事業や都市計画道路事業等の進展により、公園の改修等がある地域
- ③ 地域全体の遊具や施設の老朽化度合いを踏まえ、面的な機能更新が必要な地域

● 図 4つのエリア区分

